

的なアクションプランをつくり、目的達成のため各種施策に取り組んでまいります。

林業は、農業とともに本町の重要な基幹産業であります。

森林を整備する中で、地域林業生産活動の活性化を推進し、林業労働者の減少や高齢化などの担い手対策としては、森林整備担い手対策推進事業のほか、国の緑の雇用制度を活用し、3年間の実務研修を終えたのち、引き続き林業従事者として通年雇用し、町が定める一定の給与を支給する事業者に対して、2年間その一部を助成する、新たな施策として取り組んでまいります。



林業用ハーベスタ

また、昨年10月16日に発生しました雪害による倒木等の処理については、平成26年度から平成30年度までの5年間で、国・道の助成制度を活用し、計画的に実施してまいります。

山林から発生する林地残材を活用した木質バイオマスエネルギーは、再生エネルギーとして、道も利用推進に努めており、地域の雇用と森林経営の基盤強化及び環境保全の役割を果たす、本町の林産業振興を図る有意義な手段であります。

これまでの、南富良野中学校、ログホテルラーチ、南富良野小学校の暖房設備に次いで、平成26年度に建設する金山地区福祉複合施設に導入す

る計画であり、今後も公共施設への導入検討とともに、チップ生産体制の検証も併せて行う中で、地域の活性化の手法として、更に充実した活用を検討してまいります。

民有林の振興については、森林所有者の負担軽減を図るための各種補助制度を活用した、除間伐事業や造林、保育事業の推進について、民有林の窓口である森林組合との連携を図り、引き続き取り組んでまいります。

また、林業専用道久住川向線開設工事に引き続き取り組むとともに、雪害による民有林の倒木等の処理を促進するため、従来の除間伐事業の補



北落合地区森林作業道

助制度を拡充し、計画的に復旧処理を進めてまいります。

南富良野町民有林地流動促進事業は、本年3月末で時限を迎えますが、未整備森林の解消と、森林所有者の経営意欲向上や森林購入者の負担軽減を図るため、林地取得資金の借入金利子の全額を助成する、新たな支援制度として取り組んでまいります。

治山事業では、道の公共事業による北落合、幾寅地区での植栽事業、幾寅地区での小規模治山事業が予定されています。

商工鉱業の振興

道有林事業では、下金山地区の小規模治山事業、東鹿越地区では道路維持工事が予定され、両地区で準備地拵、下刈りなどの保育事業が予定されています。

巻く環境は、産業全般の低迷や過疎化などが大きな要因となり、個人消費の伸びが期待できず、商工業全体として一段と厳しい環境にあります。

このような状況を踏まえ、商工会の育成強化については、商工会の財政効率をより一層求める中で、商工振興事業補助金による支援を継続し、町内消費向上対策についても商工会と連携を図り進めてまいります。

地域の活性化と地場産品の振興を図るため、農・畜・林産物等、南富良野町の素材を利用した商品を販売するための調査研究・製造・販路拡大等のきつかけづくりとなるよう、個人及び団体事業者の取り組みに対する助成を行ってまいります。

鉱業振興については、鉱業振興会へ引き続き支援するとともに、輸送車両に配慮した町道の維持に努めてまいります。

観光の振興

観光振興については、富良野美瑛広域観光推進協議会に参加する自治体と共同し、国内外に対して本町の観光資源のPRに取り組み、富良野美瑛圏域に観光客を誘致するため、関係する機関と連携を図ってまいります。

また、観光関連施設の保全改修については、物産センター屋上防水改修及び外壁塗装、南ふらのスキー場第2リフト塗装を行ってまいります。NPO法人南富良野まちづくり観光協会は、本町の観光PRや観光資源の活用、かな

やま湖湖水まつりの開催における中心的な活動団体であります。

平成26年度では、富良野美瑛広域観光推進協議会との共同事業として、国道237号花人街道の花壇整備とアウトドア体験ガイドの英語版を作成し、地域の優れた観光資源のPRと外国人観光客を受け入れるための独自の企画が計画されており、まちづくり観光協会と連携を図り、本町への国内外からの誘客促進に努めてまいります。

本町の冬の風物詩となっております「ワカサギ釣り」については、ワカサギ活卵の放流を実施し、冬季湖面の安全



風物詩のワカサギ釣り

管理を金山ダム管理支所と協力して進めてまいります。

雇用対策

季節労働者対策としては、富良野広域圏通年雇用促進協議会が実施する求人開拓、相談、情報提供などの各種事業に引き続き支援を行ってまいります。

振興公社

振興公社の経営は、まちの活性化や雇用の場の創出、産業の振興など、役割は極めて重要であります。

その設立目的達成のため、議会特別委員会のご意見を踏まえ、経営改善策について検討し、順次実行しているところでありま

振興公社の指定管理施設は、昨年度、適正管理ができるよう、指定管理料の見直しを行い、事業の持続性が高まりましたので、これまでの累積損失の解消と経営の安定に努めるべく、引き続き、経営改善と事業展開に、積極的に取り組んでまいります。

また、振興公社の収益の基盤をなしております、農産加

工部門の主力商品であるバタジャが、くまさ茶の販路拡大と新規商品の開発にかかるマーケティング調査などを行ってまいります。

福祉など様々な角度から、地域の子育て支援を図ってまいります。

次に、保健・医療・福祉分野で、「幸せに暮らせる健康と福祉のまちづくり」であり

福祉施設等の充実

金山・下金山地区の高齢者の方々が、長年住み慣れた地域において、安心して暮らしている居住環境、乳幼児が安心・安全に過ごせる保育環境と、老人クラブの方々の活動拠点としての機能も合わせた、金山地区福祉複合施設を建設し、平成27年4月に開設してまいります。

子育て支援

少子化や核家族化がさらに進み、子どもや子育てをめぐめる環境が大きく変化する中で、安心して子育てのできる環境を整えるため、医療・保健・

妊娠健診については、費用の全額助成を実施し、交通費などを助成する「すこやか出産支援金」制度、特定不妊治療費の一部助成を継続してまいります。

また、疾病の早期診断と早期治療を促進し、経済的に負担の大きい子育て世代の暮らしを応援するための、「すこやか子ども医療費助成制度」を継続し、安心して子育てができる環境整備に努めてまいります。

児童福祉の充実

児童福祉については、幾寅・金山保育所の運営をはじめ、地域子育て支援センター